



右見て 左見て 安全に道路をわたるよ！
鴛泊小学校青空教室より

平成19年 5月号

広報 

いしり富士

No.210

町のホームページは毎日更新されています。以下のアドレスからご覧ください。
<http://www.town.rishirifuji.hokkaido.jp/>

平成19年度

町政執行方針

皆様のご高配のお蔭様をもって私
が町政の舵取りを任せて頂いてから、
早いもので二期目の折り返しを迎え
ることとなります。

最近では、景気の低迷、地方交付税
の減額など予想の範囲を遥かに超え
る厳しい行財政環境のなか、町民の
皆様には温かい激励を頂きながらご
協力を賜っておりますことに感謝申
上げます。

どのような状況下にあっても時代
の変化に柔軟に対応することを念頭
に置きながら、乏しい自主財源を有
効に活用して健全財政の
運営に努め、創意工夫を
凝らして様々な行政課題
に取り組みなければなら
ないと考えており、住民

【活力】と【魅力】のある まちづくり



生活に直接かかわる多様な行政サー
ビスの低下を抑えつつ「活力と魅力
のあるまちづくり」に邁進し、個性
を発揮して新たな分権時代に向けた
地方自治の可能性を切り開かなけれ
ば、利尻富士町の将来はないと思っ
ており、全身全霊を傾けて町政の執
行にあたって参る所存であります。

また、すでに行政改革推進委員会
から答申を受けて策定している「利
尻富士町行財政集中改革プラン」を
実行して、「温故知新（ふるきをた
ずねて、新しきを知る）」のこゝろを
ざねて、前に学んだことや古い教え
などをおり、前に学んだことや古い教え
などを学びなおし、明るい未来をつ
くるためには昔のことを思い起こし
ながら実践することによって、必ず
や新たな光明が見えることを信じ一
歩一歩前進することを目標に努力し
て参りますので、今後とも皆様方
のご支援とご協力をお願い申し上げ
次第であります。

平成十九年度の町政の執行につき
ましては、**五つの柱**を掲げて諸施策
を実施してまいります。

第一 潤いと活力ある 産業おこしのまちづくり

昨年の本町の漁業生産額は、鴛泊
漁協十一億七千二百万円、鬼脇漁協
五億六百万円、両漁協あわせて前年
対比一〇九%の十六億七千八百万円
となりました。魚種別の増減では
「天然昆布・養殖昆布、蛸、ナマコ、
鮭」などが増産、「ウニ、ノナ、カ
レイ、ヒラメ、ホッケ」は減産にな
ったという結果で、特に増産になっ
た「ナマコ」は、これからも高価格
で推移するものと見込まれており、
両漁協にとっても期待の大きい資源
であることから、これを枯渇させる
ことなく安定した生産と資源の維持
を図るためにも漁場の効率的な利用
と漁期・漁獲サイズ等についても徹
底した管理を望むものであります。



天然昆布漁

- 漁業生産基盤の整備拡充では、北
海道が事業主体となって整備を進め
ている「魚礁設置事業」で鬼脇沖に
大型のFP魚礁二〇二個を設置し、
魚族資源の増大と漁場の拡充を引き
続き実施するとともに、金崎地区に
設置されている「囲い礁」が砂に埋
まるなどして利用度が著しく低下し
ている施設も見受けられることから、
これについても維持補修工事を実施
して昆布、ウニの資源増大と漁場の
維持管理に万全を期すことにします。
- 港湾は、鴛泊港の整備は昨年延長
になった防波堤（島堤）に基礎・消
波工一式、灯台一基の設置が予定さ
れているほか、利用者からの要望が
強い漁協前の（一・一・五）物揚場三
七m延長、防波堤（南外）、陸側延伸
一〇〇mを整備予定となっております。
鬼脇港は、要望しておりました整
備も平成十八年度でほぼ完了したこ
とから、今後は港内の静穏度や安全
性を見極めながら整備等が必要な場
合には、国から示されている鴛泊港
との港湾統合を進めた上で整備を進
めてまいります。
- 漁港関係では、南浜漁港の「地域
水産物供給基盤整備事業」で、外防
波堤一二mの設置、本泊漁港（一三
・〇m）岸壁改修四七m、大磯分港
（一二・〇m）物揚場新設四〇mを
実施するほか、旭浜、雄志志内等の
各漁港についても「転倒防止マット」

や「救命用タラップ」の設置を含め、今年度の新規、継続を含めて「港湾・漁港審議会」に諮りながら検討いたします。

●「離島漁業再生支援交付金」は、これから新たに組み込むべき事業については集落が策定した「集落協定」に変更を加えながら、町策定の「漁業集落活動促進計画」に計上して漁業再生に向けた積極的な事業を展開いたします。

●今年度の漁業後継者には、鬼脇漁協から二名の漁業後継者について連絡があったところであり、鬼脇漁組では北海道水産会が推進する「新規漁業就業者促進対策事業」で島外から漁業者一名を受け入れて地元漁家で必要な技術と知識の習得など経験を積んでおりますが、島外から漁業に意欲を持った若者が経験を積み重ねながら新規着業者として町内に定住して頂けるのではないかと考えており、本事業による受入れ漁家や鬼脇漁協に対して一層の体制充実を期待するものであります。

●今年の天然昆布は「かえり(再生)」が良いと聞いておりますが、漁業の生産動向は気温や海水温、時化など自然環境によるところが非常に大きく、この大自然の「力」には私共はなす術もありません。しかしながら、これに立ち竦むことなく、浜が躍動し活気と笑顔、希望あふれる水産業

の振興を目指して今後とも各関係機関と綿密な連携のもとに諸施策を実行してまいります。

観光について

北海道全体の入り込み客数は、平成十四年度をピークに年々減少傾向にあるといわれており、このような傾向は利尻富士町にも見られ、十五年度の二十七万人を頂点にして、昨年の年間入込数は二十一万人台と残念ながら三年連続の減少となる見込みになっていきます。

●姫沼園地の整備については、これまでも環境省に要望し、昨年八月衆議院環境委員会一行が来島した際にも現状を把握して頂きました。姫沼周遊木道と休憩舎前広場の全面改修を環境省の直轄事業により本年度実施する運びとなっております。このほか、トイレの整備、駐車場の拡張、湧水調査、休憩舎の照明設備などについては、ご承知のように姫沼園地には電気が敷かれていないということもあり、姫沼の余剰水を利用した「小水力発電」の可能性について新エネルギー財団に現地調査を要望しております。電力確保は町で実施しなければなりません。電力が確保された際にはこれらの整備を環境省が実施するということになると思っております。

●利尻山登山道整備については、利尻山登山道等維持管理連絡協議会に



利尻山登山道整備

において維持補修的な整備を毎年実施しておりますが、環境省においても崩壊箇所への整備に向けた現地調査を平成十六年度から行っており、本年度は平成二十年度の基本設計に向けて最終的な調査を実施する予定になっていきます。

●観光協会では、平成十九年を「観光再生元年」と位置づけ、観光客誘致の原点に立ち返って足元を見つめなおし、改めるものは積極的に改め実行できるものは速やかに対応するという力強い方針が出されました。これから宿泊業組合、漁協、土産品店など観光関連業者が一丸となって取り組むことに期待するとともに、自然観光ばかりでなく、食と地域の方々との繋がりを大切にしながら「癒しの地」として、「ホスピタリティー(もてなしの心)」をもつて、観光客を温かく迎えることができる利尻富士町の観光でありたいと願っています。

●「利尻島観光大使」についても、観光協会が利尻島出身の歌手である「嶋淳一」氏にはすでに依頼して了解を取っており、このほか、春先昆布の製品化にもご尽力を頂きました。自然をテーマにした講演では世界的にも有名な「C・W・ニコル」氏、そして、白い恋人で有名な石屋製菓の「石水社長」の両氏にも観光大使を依頼しているとの話を聞き、この方々が観光大使を引き受けて頂くことになれば「利尻島」を強力にバックアップして頂けるものと期待してるところであります。

●平成十五年度を初年度として「ふれあいランド」の一角に整備を進めてきた、「アメニティパーク」整備事業は、総仕上げの年となりました。これが完成により「利尻富士温泉」「カルチャーセンター」「高山植物展示園」など既存施設と一体となった利活用が見込まれるほか、「桜公園」とも連動した機能強化を図ることが可能となり、地域住民の方々ももとより、訪れる観光客の皆様にも充分満足して頂けるのではないかと考えております。

商工業の関係について

現下の経済状態、景気の動向は、中央から発信されている景気回復報道に反して、地方では今だに回復感を感じることができず、町内におい

でも商業全体としてその影響が顕著に表れているのではないかと推察しております。現状を打破するためには各企業も自らが確に状況を分析しながら地元消費者、観光客をターゲットにした積極的な営業展開に取り組みが必要があると思っております、商工会、商店会の組織を挙げて購買意欲の向上に努力を望んでいます。その中で、行政として町民の皆様が安心と安全、心身共に潤いのある生活を送るための生活基盤整備として、景気対策、雇用対策をも視野に入しながら事業展開を図る覚悟であります。

第二 温もりのある安心・安全のまちづくり

本町に居住する町民の皆様が、健康に心配することなく、明るく安心して住むことができるためには、保健、福祉、医療が一体となった行政の取り組みを欠かすことができないのではないかと思っております。しかし、町内は過疎化少子・高齢化の波が顕著に表れ、人口は三、〇八八人で昨年比二十四人の減少、高齢化率（六十五歳以上）は一、〇七四人で三十四・六%となっており、全道二十一・八%、宗谷管内二十四・一%と比較しても相当高い数値であることは間違いなく、全道の四位とトップクラスとなっておりますけれども、

も、考え方を変えれば町内の皆様は健康で長寿であり健康寿命が伸びているということ、地域コミュニティを含めて安心して生活できる地域環境にあるとも言えるかも知れません。

一方出生については、十八年度中には三十二人が誕生し、十年振りに三十人を超えることができ喜ばしい状況にあります。

このような状況を踏まえて福祉を充実させなければならぬことを考えますと、福祉施策の根幹は、社会的弱者の支援と健康づくりが双壁をなすことに鑑み、町民の目線に立った福祉に重点を置くとともに、社会福祉協議会を始め民生児童委員協議会、自治会、保健福祉推進員等の関係団体と連携を密にし、行財政集中改革プランを念頭に置きながら積極的に施策を推進してまいります。

老人福祉関係について

●老人バスは、これまで無料にしておりましたけれども、全道的、管内的、近隣町村でも有料化を導入していることから、昨年の地域懇談会でも高負担にならないことを条件に話題を提供したところ、おおよその理解を得ましたので本年度から七十歳以上の希望者に、パス券、回数券を販売して高齢者バス委託料の費用の一部をご負担願いたいと考えています。

障害福祉関係について

●これまで実施してきた障害者「ひまわり学級」は、昨年十月から鬼脇漁協の土産品用袋づくりを請負い、自立支援法による市町村必須事業の地域活動支援センター「ひまわり」として活動してきましたが、今後は作業内容の向上、地域との交流拡大に努めながら就労支援を強化いたします。

母子・児童福祉関係について

●若い子育て世帯等の経済負担の軽減を図る観点から、三歳未満の乳幼児の養育者に対する児童手当の額を出生順位にかかわらず一律一万円にすることをいたします。

また、昨年の議会でも提案のありました妊産婦の島外医療機関での出産支援については、庁内で検討の結果、検診・分娩に関わる通院交通費



アンパンマンクラブ

のフリー料金の助成措置を講ずることにして予算を計上しております。

●行財政集中改革プランの大きな課題である駕泊・本泊保育所の統合については、昨年は地域懇談会で関係地域から意見を聞きましたけれども、今年度は保護者の意見を聞くとともに、今後の出生児の推計をするなど総合的に判断して、二十年度の統合を目標に地域理解を深めます。同時に駕泊幼稚園の保育所への統合についても検討するよう教育委員会に申し上げておりますので、検討結果を待ちたいと思っております。

健康づくりについて

「自分の健康は自分でつくる」という意識改革の重要性を掲げながら本町の「健康づくり計画」を策定しています。これが目標を達成するために保健福祉センターに配置している保健師を中心に町内各地域で保健事業を行い、生活機能低下、介護の必要度、高齢者の閉じこもり予防支援、認知症予防支援など各種の健康教育や健康相談を通じて日常生活の支援サービスを行っているのが実態です。

このため今年度は更に内容を充実させるため、次の事業を実施します。

●環境衛生関係では、駕泊葬苑火葬炉の補修工事を実施して管理の万全を図ります。また、駕泊地区の生活



利尻島老人保健施設

排水処理施設については、港町の一部を除いた市街地の下水道が供用開始になって普及率も向上していることから、地先の沿岸資源に対する影響が極めて低いものと判断し、二カ所の処理施設の運転を休止します。

●清掃関係では、ゴミ手数料の見直しとともに粗大ゴミの有料化も予定されていることから、これを契機に駕泊、鬼脇両地区で隔年毎に実施していた一斉清掃は実施しないことになりました。

●国民健康保険税につきましては、国民健康保険法の改正により医療費分の基礎賦課限度額が五十三万円から五十六万円となり十年振りに改正される予定であり、税率改正と合わせて六月議会に提案いたしますのでご理解を賜りたいと存じます。

●駕泊診療所は、一月から田中所長の着任を頂いて診療を再開することができました。地域住民の皆様には

通院バスでの移動など大変ご迷惑をかけご協力をいただいたと思っておりますが、患者数も徐々にではありますが増えてきている状況のなかで、今後とも安心と信頼を得ることができると診療体制に努力してまいります。

●特別養護老人ホーム秀峰園、デイサービスセンター、利尻島老人保健施設など介護施設の運営にあたっては、入所者、入園者、利用者が安心して居住、利用できるように適切なケアプランのもと、職員には地方自治体で運営していることを自覚させるとともに、心のこもった介護サービスを提供できるように徹底を期します。

第三 豊かな住環境づくりを目指すまちづくり

●本町に定住している地域の皆様、また、本町に定住を希望する皆様にとっては、安心して、快適で豊かな生活ができる環境を望んでおり、離島という地理的条件のなかで、観光をも視野に入れながら交通アクセスの整備、教育文化の向上、健康の増進、住環境の整備など幅広い施設整備が必要であると思っております。

●昨年は地域住宅計画作成のための基礎調査としてアンケート調査を実施し、この報告書をもとに公営住宅の建設や改善、宅地の造成など、今後の住宅施策の方針ができましたので、



まちづくりワークショップ

その一環として、今年度は第二見晴ヶ丘団地二階建一棟八戸、物置棟、駐車場、道路を整備します。

●十七年度から整備を進めている鬼脇地区下水道整備事業は、当初計画通り二十年度には供用開始ができる予定です。

●簡易水道事業では、今年度は、富士岬、本泊方面への分岐点周辺（富士野地区）に配水管新設三三〇mを施工して断水事故があつた場合の地域への影響を最小限にとどめるように整備をいたします。

●まちづくり対策の関係につきましては、「駕泊市街地まちづくり計画書」を纏めることができました。昨年は、「まちづくり景観講演会」、「景観形成ワークショップ」など集中的に開催しましたけれども、これらの内容を「概要版」として纏め「駕泊市街地道々拡幅事業の大規模事業事前審査」の添付資料として提出しま

した。

●今後は、このマスタープランをもとに、駕泊市街地活性化に向け想定される駕泊港周辺、フェリーターミナル、駐車場等も含めた再配置や商店街の形成、観光振興を含めた施設の開発と再配置及び土地の活用などの協議を地域と協働して積極的に取り組めます。

●この駕泊市街地道道整備事業については「公共事業評価専門委員会」の委員八名全員が四月三日・四日の二日間の日程で来町され、大規模公共事業事前評価ヒアリングと現地調査が実施されました。そのあと五月に専門委員会から知事に事業の是非が答申され、答申で事業の必要性が認められれば六月開催予定の定例道議会に報告するというスケジュールになっており、今後も事業認可に向けて関係機関に強力に運動を展開してまいります。

防災、交通安全対策について

●昨年は、本町でも集中豪雨による河川の氾濫等により土石流があつて沿岸の根付資源に被害をもたらしましたが、本町のような特殊な地形を考えますと河川災害、崖崩れ、雪崩災害、津波災害などが懸念されることから、町民の安心、安全を確保するためにも大規模災害を想定しながら、組織体制の整備、消防団、自主

防災組織、各自治会との連携を密にした防災体制の確立が必要であり早急に体制整備を行います。

武力攻撃事態等において、「武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律」に基づく「利尻富士町国民保護計画」は、住民の生命、身体及び財産を保護する責務に鑑み、国民の保護のための措置を的確かつ迅速に対応するための計画であり、このあと知事に正式協議を行い、協議が整い次第、計画書が出来上がります。

●交通安全は町民の願いでもありません。これまで皆様のご協力によりまして、今年四月末で交通事故死ゼロの記録も六二八日となっており、さらにこの記録を更新するために、一、〇〇〇日を目標に掲げ交通安全運動を展開しておりますが、特に、「飲酒運転の根絶」を重点運動項目とし「飲酒運転は絶対にしてはならない」という意識改革を町民の皆様にとって頂くため、防災無線や広報などにより周知徹底を図るとともに、啓蒙活動を実施しながら、交通安全対策に努めます。

四 お互いが助け合う、みんなで創る協働のまちづくり

いま地方は、過疎化、少子・高齢化が進み、経済、景気、雇用の何一つとっても一向に好転する兆しは見

えることなく、町民の皆様も厳しい環境に置かれていることは否めない事実でありますので、行政とそれぞれの地域に住んでいる方々が一体となつて、心を合わせ、力を合わせて、お互いが助け合える「協働のまちづくり」が必要であり、「町に元気と活力」を取り戻すためにも、我がふるさと利尻富士町に深い関心と気概を持つて、まちづくりに参加・参画し、意欲を持つて頂きながら共に取り組むことができれば、利尻富士町の将来は明るいものがあると確信しております。

特に、それぞれ町民の皆様方は、色々な分野で情熱を持ちながら、自ら実践している方々が多いと思いますし、その意欲をさらに地域社会に進んで参加・参画して活動して頂ければ、町全体として「協働の絆」が深まり、お互いが助け合える「地域コミュニティ」の環境が構築されるのではないかと思っております。

今年「利尻富士町まちづくり総合計画」の見直しを図らなければならぬ年であり、「利尻富士町振興計画審議会条例」に基づいて、生活意識や価値観の多様化に対応して、町民生活の安定と向上を図るために、産業基盤や生活環境施設などの整備を進めるための将来像を描く「新しいまちづくり計画(仮称)」をこの一年間かけて審議、検討して頂くこと

にしております。この審議会委員を委嘱するにあたっては一部の委員は公募制を採用して選任し、パブリックコメントの手続きにより計画(案)を公表して、町民の皆様からも意見を頂戴しながら新しい計画書を策定したいと考えており、これからも地域住民と一体となつて、ともに考え、ともに行動できる環境づくりに努力しますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

●本年の具体的な事業として、「まちづくり活動助成金制度」を新設して、町民自らが企画、提案して自主的に取り組むまちづくり活動の促進を目的に、まちづくりに役立つ公益な事業に対して、その活動費の一部を助成することにいたしました。



鴛泊フラワーサークル

●フラワーガーデン事業では、昨年、フラワーサークルも誕生して鴛泊市街地にプランターの設置や花の植栽管理、鬼脇地区でも自治会女性部が中心となつて市街地の道々沿いに花

の植栽など実施しており、今年度もこれらの活動をバックアップするために、花の苗、プランターなどの購入、活動費用を支援するとともに、町民がごぞつて参加できる態勢整備と明るくきれいなまちづくりを推進してまいります。

町村合併の問題について

「市町村の合併の特例等に関する法律(合併新法)」は平成二十二年三月三十一日までの時限立法であります。このため北海道では昨年七月に合併新法に基づいて「北海道市町村合併構想」が示され、利尻島十礼文島という組み合わせになりました。この構想を基に礼文町、利尻町、利尻富士町の議会で協議の結果、行政において三町で合併に前向きに検討するようにとの三町議会議長名連記の公文書をもつて各首長宛てに提出され、これを参考にしながらこれまで三町長が何度か話し合いを行いましたけれども、三町の行政が足並みを揃えてテーブルに着くところまでの結果に至っておりませんが、合併新法の期限を考えれば残すところ三年しかなく、合併の検討に要する期間を考えると、早急に話し合いを行うことができる環境を整備しなければなりません。

ただ、これまでも申し上げている

第五 行政のスリム化と健全財政のまちづくり

平成十九年度予算の概要について

とおり、合併を検討するにあたっては相手が必要であることはいうまでもなく、北海道の合併構想にもあるとおり、利札三町は地理的条件、産業構造、文化など同じ環境、境遇にあるなかで発展してきたことを踏まえれば、効果的、友好的に町民のコンセンサスを得ることができるとは思えないかと考えており、これからも三町が足並みを揃えて地域振興ができるように、粘り強く合併について正式に検討する機会を設定できるように努力してまいります。

国は「骨太方針二〇〇六」において、二〇一一年には国、地方の基準的財政収支の黒字化を達成するため、聖域なく歳出を見直す方針となっており、地方自治体も新たな行財政改革に向け、地方交付税に直接的に跳ね返る「行革インセンティブ」に対応しなければなりません。

一般会計歳入歳出の総額は三十七億七百万円とし、対前年度比で金額一億二千八百万円減、率にして三・三％の減となり、収支のバランスを維持するため不足財源を財政調整基金から一千万円、社会福祉事業基金から一千万円、減債基金から二千万

平成19年度 建設事業一覧表

〔一般会計〕

単位：千円

款	事業名	事業費
総務費	財務会計システム整備費	6,101
	地籍調査事業	6,360
	沓形仙法志鴛泊線交付金(改)工事移転補償費	52,500
	公宅解体工事	900
	ポスター掲示場設置工事	450
	計	66,311
衛生費	鴛泊葬苑火葬炉等補修工事	2,063
	計	2,063
農林水産業費	町有林保育事業	2,741
	小規模治山事業	22,200
	離島漁業再生支援交付金	54,672
	富士岬船揚場整備事業	33,569
計	113,182	
商工費	北麓野営場トイレ補修工事	647
	計	647
土木費	自然休養林甘露水線改良工事	60,000
	鬼脇地区道路改良工事	60,000
	ロータリー除雪車購入事業	32,300
	アメニティパーク整備工事	48,000
	直轄港湾負担金	142,000
	第二見晴ヶ丘団地建設工事(基幹事業・提案事業)	169,261
	公営住宅補助事業積算業務委託料	504
	飛行場標識施設補修工事	1,786
	飛行場周柵補修工事	2,843
	計	516,694
消防費	防災無線施設屋外局整備事業	4,095
	計	4,095
教育費	利尻小学校耐震診断業務委託料	483
	小学校校舎・教員住宅補修工事	600
	中学校校舎・教員住宅補修工事	400
	教員住宅新築工事	27,982
	教員住宅解体工事	893
	旭ヶ丘プール補修工事	658
計	31,016	
合計		734,008

円、ふるさと創生基金七百七十九万二千円など、総額五千万円を基金からの繰入によって歳出の均衡を図っております。各特別会計も合わせた町全体の予算総額は、対前年度比、金額で一億七千六百七十三万三千円減、率で二・八％減の六十一億五千四百九十九万二千円の予算規模であります。今後さらに、国の歳出、歳入の一

体改革に向けた取り組みが加速することが予想され、「三位一体改革」による歳入面での見通しが極めて不透明な状況におかれては、より一層の「行健全化を図るため、より一層の「行財政集中改革プラン」を実行しながら、町民から信頼される町行政を推進してまいります。

方針を申し上げましたけれども、先が見えない「雲海の中」にいる飛行機でも、心を一つにした地道な努力があれば、必ずや安定した飛行が可能となつて着陸できると思っておりますので、町議会の皆様、町民の皆様におかれましては、変わらぬご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成十九年度 利尻富士町 教育行政執行方針



教育分野においては、昨年十二月に国民的な重要課題として国を挙げて論

議されてきた教育基本法の改正が行われ、新しい教育のあり方が打ち出されるなど新たな転換期を迎えているところでもあります。

このような状況の下、豊かな未来を担う子どもたちが、夢と希望の持てる社会の形成者となるべき資質や能力の基礎となる確かな学力・体力・道徳性などの「人間力」を着実に身に付け、心豊かにたくましく生きる力を培うことが、最も大切なことでもあります。

利尻富士町教育委員会といたしましては、国の教育施策を基本とし、関係部局や関係機関・団体との連携を図りながら、総合的な教育の推進に取り組んでまいります。

一・学校教育の推進について

- (一) 確かな学力を育む教育の推進
- (二) 豊かな心と健やかな身体の育成

- (三) 家庭、地域に開かれた学校づくり
- (四) 安全で快適な教育の推進
- (五) 幼稚園教育の推進

二・社会教育の推進について

- (一) 生涯学習の推進
- (二) 青少年の健全育成
- (三) 文化芸術の振興
- (四) スポーツの振興

一・学校教育の推進

学校教育には、これからの社会において子どもたちが、様々な変化に対応しながら自ら考え、自ら判断し、自ら行動することができ、「生きる力」を身に付けるために必要な資質や能力の育成が求められています。そのため、教科や総合的な学習の時間における基礎的・基本的な内容の学習を通じた「確かな学力」及び特別活動や道徳活動などにおける体験的な活動を通して、「豊かな心」の育成に努めてきているところでもあります。

(一) 確かな学力を育む教育の推進

学校週五日制の下、「ゆとりと充実」を基本とする学校教育においては、これまで以上にきめ細かな学習指導を徹底することが、学力水準の向上には欠かせないものではありますが、保護者の中には依然として「学力低下に対する懸念」が存在するこ

とも事実であります。

このようなことから、年間を通して学校教育の基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けさせ、一人一人の学ぶ意欲を喚起し、自ら考え主体的に判断する力を育成することが最も重要であり、各小中学校においては、ティーム・ティーチングや子どもたち個々の習熟の程度に応じた指導内容・方法の工夫により、学力の向上を図っているところであります。

また、子どもたちの更なる学ぶ意欲を高め主体的な学習能力を身に付けさせるためには、総合学習の時間の中で、地域のすばらしい自然を利用した観察・体験学習や経験豊富な地域の方々を活用したものづくり学習などを通して、子どもたちの知的好奇心や研究心を呼び起こすような学習を積極的に進めてまいります。

国際化にむけては、宗谷教育局に配置となつているALT（外国語指導助手）の派遣事業を引き続き行い、次代を担う子どもたちが国際感覚を身に付けるための能力を養い、外国人との十分なコミュニケーションが取れるよう、英語教育の充実を図ってまいります。

特別支援教育については、近年、小中学校において通常の学級に在籍している学習障害などの児童生徒に対する適切な指導及び必要な支援が全国的にも課題となつております。

今後、適切な教育的支援を行うための指導体制の整備・充実に努めるとともに、自らが持っている「学ぶ力」を高め、生活や学習上の困難を改善、克服することが大切なことであると考えております。

先般、保育所、幼稚園、各学校や教育委員会、医療、福祉各関係機関等と連携して支援体制を強化するための「利尻富士町特別支援連携協議会」設立の準備会を開催し、本年度中には正式に発足する運びとなっておりますので、特別支援教育の趣旨や理念に基づく個々の障害の状態に応じた適切な配慮と、きめ細かな支援を強化してまいります。



学校給食

(二) 豊かな心と健やかな身体の育成

今日、子どもたちを取り巻く社会環境が急激に変化する中で、基本的な倫理感や道徳感、公共性や社会性などが、十分に育まれていないと指摘されております。

身体の育成

そのため、学校、家庭、地域が三位一体となり、地域に開かれた特色ある教育活動を通して他人を思いやる心や社会貢献の精神を育むため、奉仕活動、体験活動に努めていく必要があると考えます。

利尻島の豊かな自然や歴史・伝統・文化などを生かした教育活動や読書活動の充実、あるいは道徳用の教材である「心のノート」を活用し感動する心や生命を大切にすることを育むほか、善悪を判断する力を養うなど、地域全体と歩調を合わせて取り組んでまいります。

近年、子ども達が抱えている生活習慣における主な問題点として、一・夜型生活習慣の低年齢化、二・食生活リズムの乱れ、三・日常的な身体活動の不足、四・ストレスの多い生活などが挙げられております。

このため、子供たちが一日の大半を過ごす学校生活を健康に送ることのできるよう、疾病の予防や早期発見のための各種健康診断及び保健指導を充実させ、家庭や地域と連携を図りながら、これからも児童生徒の健康管理に対する教育を推進してまいります。

また、新たに食に関する指導を充実させるため、学校における食の指導及び学校給食管理を一元化した学校栄養教諭制度を導入いたします。

さらに、子どもたちの総合健康指導を充実させるため、保健体育教諭、

養護教諭、保健師、栄養教諭で構成された「健康づくり教育推進委員会」による取り組みを充実させてまいります。

育英資金貸付制度については、能力があるにもかかわらず、経済的な理由により就学が困難な高校生、大学生等に対して奨学金を貸与し、有能な人材の幅広い育成を図ってまいります。

(三) 家庭、地域に開かれた

学校づくり

今日の教育は、子どもたちへの深い愛情と学校、家庭、地域がお互いの信頼のもとに協力し合い、心豊かな子供たちを育てることが最も大切なことであります。

また、「教育は人なり」と言われるように、直接学校教育に携わる先生方の果たす役割は極めて大きく、教職員の資質・能力の向上が益々求められております。



授業風景

児童生徒の「確かな学力」を向上させるためには、教職員自らが今日の教育課題や学校の実態を的確に捉え、実践していかねばなりません。

すでに子どもたちの多様な資質や能力を伸ばす継続的な学習を進めることを目的とした中高研究協議会が設けられておりますが、これからは小学校も含めたより幅広い活動を図るための新たな枠組みについても検討してまいりたいと思っております。

(四) 安全で快適な教育の推進

学校の内外で子どもたちが被害を受ける事件が相次ぐなか、全ての子供達の成長を支える強い自覚と責任を持つとともに、家庭・学校・地域社会がそれぞれの機能を発揮し、これまで以上に連携を強化することが大切であります。

子供達が頻繁に利用する通学路については、街頭指導や町広報誌による啓発活動などを行い安全確保に努めるとともに、学校への不審者対策として玄関と職員室が離れている学校に防犯用監視カメラを設置するほか、全ての学校において緊急時を想定した避難訓練を実施し、学校内外での事件事故の防止について指導してまいります。

いじめの問題に関しては、昨年暮れに全道規模で実施された、いじめに関する実態等調査の結果を見ても、本町では十八名の児童生徒が「今も

いじめられている」と答えていることは事実であり、深刻ないじめは無いものの、普段から細心の注意を払い早期に対応していくことが必要不可欠であり、学校現場、教育委員会とはより場合によっては宗谷教育局も含めて、問題解決に当たりたいと考えております。

(五) 幼稚園教育の推進

幼児期は、人格の基礎が作られる最も大切な時期であり、この時期により良い環境の中で正しい指導により幼児の能力を伸ばしてあげることが必要であります。

幼稚園教育では、幼児期の発達の特性に照らして幼児の自発的な活動である「遊び」を「学び」として位置付け、知識や技能に加え、思考力・判断力・表現力などの「確かな学力」や「豊かな人間性」、たくましく生きるための健康・体力からなる「生きる力」の基礎を育成する役割を担っております。

また、幼稚園の教育要領に従って教育課程を編成し、遊びを中心とした楽しい集団生活の中で、幼児の興味・関心を引き出すための活動や体験をさせるとともに、家庭や地域社会と連携し、生命を尊重する心、他を思いやる心、美しいものや自然に感動する心など、豊かな心をもって健康で明るくのびのびと行動する子どもへの育成に努めるとともに、子供達

が小学校入学前の一年間を幼稚園で楽しく過ごせるよう、職員一同が一人の成長を共通理解し、幼稚園全体で愛情を込めて教育してまいります。このようなことから、教育委員会としても、本年度において、篤泊幼稚園と篤泊保育所の統合について前向きに検討してまいりたいと考えております。

なお、検討に当たっては、「次代を担う子どもを育てる」ことを念頭に、保護者等の意見に十分耳を傾けながら進めてまいりたいと思っております。

二. 社会教育の推進

今日、家庭教育をはじめとする地域における教育のあり方や人々の考え方が、大きく様変わりしてきております。

厳しい経済環境のもと、限られた物資資源の中で創意工夫し、町民相互の人間関係が深まるような心の通じ合う社会教育を推進してまいります。

(一) 生涯学習の推進

利尻富士町の生涯学習を推進するため、利尻富士町生涯学習推進計画にある、個人・学校・家庭・地域のそれぞれにおいて自らの個性を生かしながら他人の個性を尊重し、町民一人一人が持つ特性や個性、知識、技術などを社会の中で活用していく場を持たせるよう考え、社会での存

在感や充実感を味わい、やがては生きがいとなって豊かな個性の花を咲き誇らせ、それが町全体に広がり生き生きとした活力ある町づくりの創造に結びつけたいと考えています。教育委員会といたしましては、生きがいのある生活や地域づくり活動を支援するため、本年度も生涯学習講演会を行うほか、読書環境の整備に努めてまいります。

(二) 青少年の健全育成

地域が豊かに発展していくためには、新しい時代を担う、心豊かたくくましい青少年の育成が何よりも大切であります。

そのためにも、青少年の健全育成に積極的に取り組んでいる利尻富士町青少年健全育成町民会議への助成を引き続き行うとともに、次代を担う心豊かな子どもたちを育成するた



鬼脇公民館カルタ教室

め、北海道ジュニアリーグ育成事業及び小樽市・利札三町児童交流育成事業への助成を行います。

公民館については、地域における学習・文化の中核施設としてまた、人々の交流の場として最も身近な社会教育施設であり、地域に密着して広く仲間づくりが出来るよう各種団体と連携、協力しながら、かるた、しめ飾り作り教室など各種事業を実施してまいります。

(三) 文化芸術の振興

町民一人一人が心にゆとりと安らぎを持ち、文化や芸術を身近なものとして捉え日々の暮らしの中に取り入れることは、感動や喜びをもたらすばかりではなく、豊かな人間性と創造力を育む大きな力となることから、文化協会やサークルなどの自主的活動に対して、情報提供や積極的な支援を行ってまいります。

ふるさと利尻富士町の文化財に関する情報は、町内外に埋もれている貴重な郷土資料の収集・調査を継続して行い、利用できるものは郷土資料館、温泉保養施設での展示や学校教材として活用するほか、それら資料を用いた学芸員による出前講座や展示会、町広報などを通して、町民の皆様へ公開してまいりたいと考えています。このほか、今年度の活動としては、樺大絵はがき展の開催や、予定されている篤泊市街地道道整備に伴う埋

蔵文化財調査の調整並びに試掘調査を計画しております。

(四) スポーツの振興

教育委員会といたしましては、町体育協会を中心に各スポーツ関係団体との連携を深め、各種スポーツ大会・行事などの事業を展開するとともに、体育指導員によるスポーツ技術の向上を図りながら、町民が気軽に取り組むことができるスポーツの普及に取り組んでまいります。

今年度は各スポーツ少年団の新たな指導者を育成するため「日本スポーツ少年団認定員養成講習会」の開催を予定しております。

さらに、スポーツ活動の拠点となる総合体育館やパークゴルフ場・町民プールなどの体育施設については、利用者の利便を最優先に考え、営業時間や期間をできる限り短縮せず、利用者が安全に、かつ快適に利用できるよう環境を整えてまいります。

以上、平成十九年度の利尻富士町教育委員会の教育行政執行方針について申し上げますが、その執行にあたっては、各関係機関・団体との連携を図りながら、本町教育の更なる充実と発展に努めてまいりたいと考えておりますので、議員の皆様方はじめ町民各位のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。

国保中央病院だより

地域医療はさまざまな人たちに支えられています。情報や就学、利便性から都市部に医療従事者は集中しがちです。

そこをあえて、地域にとどまっておくことで活動を続ける人は、貴重な人材と宝とであると云われます。利尻島に来て5年間、日夜活躍されている近藤先生に利尻島の医療について寄稿いただきました。

利尻島、この先病院、診療所、老人ホーム どうなるの？

道立鬼脇診療所 所長 近藤 剛

●両親との同居

はじめまして、鬼脇の近藤です。早いもので私が利尻島に赴任してから5回目の冬になります。長くもあり短くもあつた5年間でした。本当にいろいろなことがありましたが、ここ最近で言いますと一番の変化は今年から両親と一緒に暮らすようになったことです。これまでも毎年、雪がない時には利尻島に来て雪が降る前には帰っておりまして。

が、今年からは本格的に同居することとなりました。両親にとって50年余り住み慣れたところですから私が遠く利尻にいても安心しておりまして。昼前になつても姿が見えなければ隣近所の方が心配して様子を見に来てくれますし、入院設備のある病院も目と鼻の先にあります。遠くの息子より近くのご近所さんと勝手に思い込み安心しております。しかし、実際両親の話ではいろいろと近所の方には面倒をみて頂いているのですが、夜中血圧が上がったり、動悸がしたり、そんな時わざわざ近所の方を

起こすわけにもいかず、ざりとて救急車を呼んでよいものかどうか非常に悩むと云うのです。

それであれば一緒に住もうかということになりました。実際に一緒に住むようになってから思い知らされたことがあります。父は今年で81歳、母は78歳、もうすっかり高齢者です。

今は何とか元気でおりますが、いつ寝込むような状態になるか、入院が必要な状態になるか、先のこともしれない、明日かもしれない今日かもしれないということなのです。



●激動の医療情勢

一人暮らしをしていた時は自分のことだけ考えていればそれで事足りていました。医療を行う立場でしかまわりを見れていなかったように思います。が、高齢者と実際に暮らすようになり医療を受ける立場の者としていろいろなことを考えるようになりました。

これまで何も考えなかったというのではないのですが、実際に身につまされるといいますか、いつ直面するか分からない現実の問題として考えざるを得ない状況になったということなのです。

全国的にここ十年來病院や診療所の統廃合が勧められております。以前より僻地といわれる場所への医師の確保も年々困難となっておりまして。最近では市町村が破綻する世の中です。一夜にして公立病院の医師が居なくなったり、それも遠い地のことではなくどれも近所でおこっている話です。利尻島も決して例外ではないと思います。

医師の確保ができず病院が縮小され入院施設が無くなってしまったらどうなるのか、赤字のため特老や老健や診療所が縮小、廃止されてしまったらどう

なるのか？何十年前の右肩上がりの世の中とは違って今後ますます厳しい状況になることは間違いありません。縮小はあつても増大はない、であれば縮小を最小限に留めなければならぬと思うのです。

●島内医療福祉機関の経営統合

利尻島には現在一つの病院と二つの診療所があります。

これまでも診療所に通院する患者さんが入院するような状態になった時には患者さんを病院に紹介して、良くなって退院したら診療所の外来に帰るといった病診連携というのではありません。が、それぞれ経営母体が違う、町が違うなどの障壁のため人と人の貸し借りというのでしょうか、連携はなかつたように思います。

あくまでも例えの話ですが、病院、診療所、特老、老健すべてが一つの経営母体になる、そうすればそれぞれ必要な部分を補っていくことは可能です。縮小を最小限に抑える苦肉の策の一つと考えます。

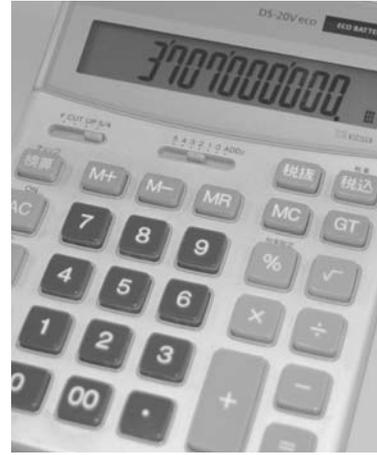
この先合併するとかしないとか、このようなことを考えるに当たりかなり難しい問題があります。島にいる全ての人に100%満足が得られるものではないかもしれませんが、70%か60%の満足が得られるように考えなければならぬと思います。そのためにもお役所の方にまかせつきりにするのではなく、一人一人が自分の家庭の医療、福祉への関わり（我が家には小さな子供がたくさんいるから何が何でも小児科医が必要だとか、我が家には高齢者がいるので特老、老健が無くなつてはこまるのか、高齢者の一人暮らしだが病院または診療所へ通うのが大変だとか）を考えなければならぬ時だと思えます。

何十年先だろうと利尻島が無入島になるまでは人が住んでいるのです。人が住んでいる以上は、この問題は決して先送りできない問題だと思えます。

一般会計の歳入・歳出予算額は…

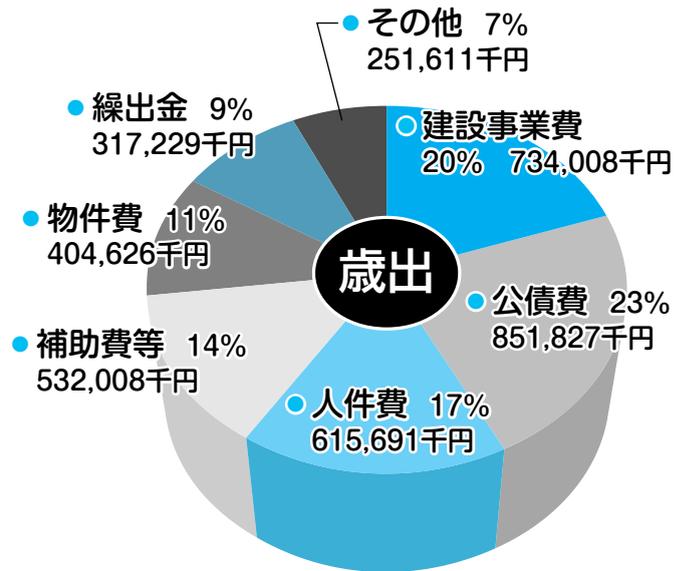
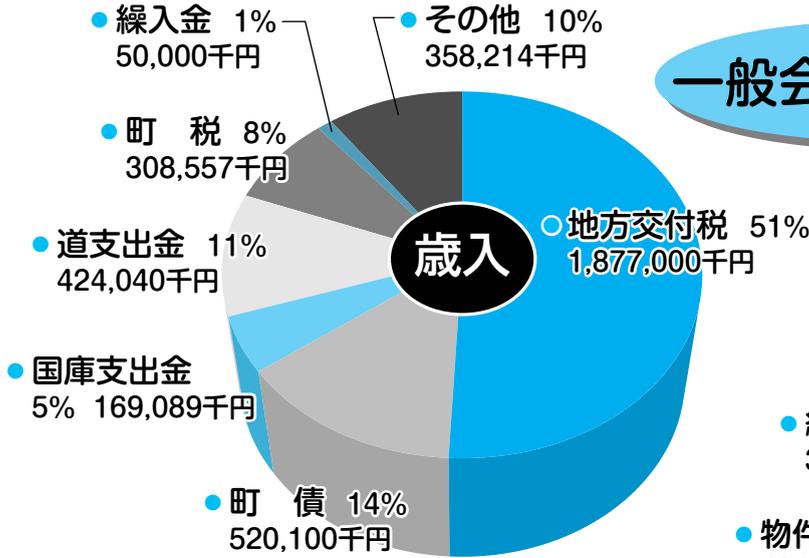
37億700万円

平成19年度の当初予算額は、前年度比3.3%の減となっております。特別会計の合計24億4,719万円と合わせた町の予算総額は61億5,419万円で、平成18年度当初予算と比較すると、約2.8%（1億7,617万円）の減額となります。



平成十九年度の
予算概要
をお知らせします。

一般会計予算は？



特別会計予算は

単位：千円

	平成19年度	平成18年度	比較
簡易水道事業特別会計	148,351	143,141	3.6%
下水道事業特別会計	427,724	426,567	0.3%
港湾整備事業特別会計	6,122	5,961	2.7%
温泉事業特別会計	114,312	133,149	△14.1%
国保事業特別会計	438,646	395,000	11.0%
老人保健特別会計	449,986	476,133	△5.5%
介護保険事業特別会計	304,601	311,461	△2.2%
介護サービス特別会計	437,930	473,874	△7.6%
歯科施設特別会計	39,496	39,187	0.8%
国保施設特別会計	80,024	90,892	△12.0%
合計	2,447,192	2,495,365	△1.9%

目的別歳出予算

単位：千円

科目	予算額
議会費	46,411
総務費	419,179
民生費	357,410
衛生費	336,067
労働費	35
農林水産業費	152,546
商工費	188,320
土木費	937,855
消防費	152,617
教育費	258,653
公債費	851,827
災害復旧費	1
諸支出金	3,079
予備費	3,000
合計	3,707,000

「利尻富士町行財政集中改革プラン」の取組状況について

平成17年度に策定した新行政改革大綱及び行財政集中改革プランについては、町財政の健全化を図るため町民皆様のご理解とご協力のもと行財政改革を行っています。このたびの広報では、平成21年度までの計画のうち平成18年度までの2ヵ年分の取組み状況をお知らせします。

● 健全な財政運営の推進 ●

◆ 自主財源の確保や受益者負担の適正化による主な取組みとして

- ・ 保育所、幼稚園保育料の適正化
- ・ 集会施設や体育施設等の町民利用施設を有料化
- ・ 検診自己負担の見直し など

5項目の財政効果額 …1,721万円

◆ 経費の節減合理化による主な取組みとして

- ・ 新春座談会や敬老会の開催方法の見直し
- ・ 職員、議員、各種委員出張旅費の見直し
- ・ 消耗品や光熱水費などの経常的物件費の節減合理化 など

7項目の財政効果額 ……973万円

◆ 事務事業の見直しによる主な取組みとして

- ・ 敬老年金を敬老祝い金として75歳以降5歳ごとの支給に見直し
- ・ 町長と議会議員の同時選挙の適用や投票区の統合による選挙事務費用の節減
- ・ 委託事業の見直し など

6項目の財政効果額 ……910万円

◆ 補助金の適正化による主な取組みとして

- ・ 漁業及び中小企業利子補給の見直し
- ・ 社会福祉協議会の人件費や訪問介護事業等補助の見直し
- ・ 各種団体への補助金・負担金及び助成金の見直し など

5項目の財政効果額 …1,331万円

● スリムで効率的な行政運営の推進 ●

◆ 簡素で効率的な組織への再編による主な取組みとして

- ・ 組織機構改革、収入役制の廃止
- ・ 篤泊診療所の経営合理化 など

2項目の財政効果額 2,367万円

◆ 公共施設管理運営の見直し及び広域行政の推進による主な取組みとして

- ・ フェリーターミナル駐車場の有料化（営業車）
- ・ 一部事務組合職員体制の見直し など

6項目の財政効果額 …1,905万円

◆ 定員管理や給与の適正化による主な取組みとして

- ・ 定員管理の適正化や早期退職制度導入による職員の削減及び手当支給の引下げ
- ・ 特別職給与の削減
- ・ 議員定数の見直し、議員報酬の削減
- ・ 各種委員会の統廃合、委員定数の見直し、委員報酬等の削減 など

14項目の財政効果額 1億2,717万円

※平成17～18年度までの2ヵ年での合計は、**2億1,924万円**の財政効果額となりました。

● 19年度からの新たな取組みやプランの見直しとして、次に掲げる項目を実施する予定です。

職員の削減…19年度は8人削減。22年度までの削減目標10.5%、16人削減とプランを見直し。	スクールバスの民間委託…児童・生徒の通学や町行事等の運行業務を民間に委託します。	保育所保育料の見直し…19年度は平均2.9%引上げ、最終的に国の基準の80%まで段階的に見直します。
特勤手当の見直し…19年度5%→2%（3%削減）、20年度2%削減し廃止とします。	老人バス無料券の見直し…年間利用券や回数券を発行し、一部負担による有料化を図ります。	老人医療費助成(町老)の見直し…道の制度に準用し68歳～69歳の対象年齢を69歳のみ引上げ。

これらのほか、幼稚園保育料の見直しでは、月500円を引上げ月額19,000円とします。下水共用開始後3年を経過している地区から順に生活廃水処理施設を停止。中小企業のみ補填していた融資の保証料補給制度を廃止。昭和60年以来料金改正を行っていないゴミ処理手数料の引上げなど、19年度は9,748万円の財政効果を目指して、より一層の行財政改革に取り組んで参ります。

* 町ホームページ(<http://www.town.rishirifuji.hokkaido.jp>)にも掲載していますのでご覧ください。

わがまち
タイムスりっぷ

連載⑭

～昭和23年 ソ連機不時着～

太平洋戦争後の昭和23年11月10日、鴛泊富士野にソ連の飛行機が不時着する事件が起こりました。このソ連機を操縦していたのは、ウラディミール・バラシコフ軍曹(23)で、ソ連から脱出しアメリカに亡命するため、稚内に向かったものの、途中ガス欠で不時着したものです。軍曹は、事件後すぐに札幌から急行した米軍情報部対敵情報部隊(CIC)に尋問され、札幌へ連行されました。

その後、29年にアメリカ入国が認められています。

この事件は軍事上機密にされ、正式に新聞報道されたのは、4ヵ月後の24年3月3日のサン写真新聞紙上で、プロペラが曲がった不時着機の写真が大きく掲載され、軍曹の会見が出ています。

当時の地元の方々にとっては、対ソ感情が悪く機体を一部破壊することもあったようですが、軍曹に対しては手厚く面倒をみたようです。機体については、米ソ両軍立会いのもと焼却処分されました。

今回の記事について、情報やご意見などありましたら 教育委員会 山谷(電話82-1370)までご連絡下さい。



保健師だより

福祉課すこやか保健係

メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)判定カルテ

★にひとつでもチェックのついた人は対策が必要です。さっそくチェックしてみましょう!

★内臓脂肪型肥満

腹囲(おへその高さで測る)が
男性で85cm以上、女性で90cm以上

メタボリックシンドローム
の危険性が高い状態です

★高血糖

空腹時血糖値が110mg/dl以上

★血圧高値

収縮期血圧が130mmHg以上
または/かつ拡張期血圧が85mmHg以上

★脂質異常

中性脂肪値が150mg/dl以上
または/かつHDLコレステロール値が40mg/dl未満

さらに…

内臓脂肪型肥満に加え、
左記の2つ以上にあては
まる人は、『メタボリック
シンドローム』と診断
されます

メタボリックシンドロームとは、生活習慣病の危険因子をあわせ持っている状態のことです。ひとつひとつの値は健康診断で“異常”とされるレベルでなくても、“やや高め”が重なることで動脈硬化が進み、放っておくと心臓病や脳卒中、糖尿病合併症など、命に関わる重篤な疾病につながる危険性があります。

内臓脂肪を減らすためには、運動不足の解消と食習慣の改善が、車の両輪のように同時にまわっていくことが大切です。

ウォーキングを習慣にするなど、運動を中心に毎日の身体活動量をふやして消費エネルギー量をアップさせ、内臓脂肪を確実に減らしていきましょう。

ベイビートーク

6人の
元気な赤ちゃんを
紹介あるよ!



なり た けん すけ
成田 健輔くん
H18.10.7 生
【両親】英樹・明美
【住所】栄町1

僕が、6ヶ月になった健輔です。「けんすけ!」と声を掛けてもらったら、『ピカピカ笑顔』でこたえる練習中です。

ちゃぷちゃぷ(お風呂)とバナナが大好きで、上手なキック!?を生かして、将来は、サッカー選手になりたいと思っている僕を、これからどうぞよろしくお願いします。



やま もと くる み
山本 来未ちゃん
H18.10.28 生
【両親】剛・美枝
【住所】港町

はじめまして!来未です。お姉ちゃんと同じく1ヶ月も早く産まれたけど、写真のとおりブクブクほっぺがチャームポイントです!早く大きくなってお姉ちゃんといとこのまなちゃんと遊ぶのが今の夢かな。

皆さん、町で会った時は、是非声をかけてくださいネ。よろしく!



たに ぐち せ な
谷口 世奈ちゃん
H18.10.30 生
【両親】正敏・ゆかり
【住所】栄町1

はじめまして!私の名前は【世奈】っています。

谷口家の三女として生まれました。二人のお姉ちゃんは、私の面倒をうるさいぐらいみてくれます。

はやく、お姉ちゃんたちと一緒に、外で遊べるようになりたいです。

みなさんよろしくネ!!



よし だ の あ
吉田 埜亜ちゃん
H18.11.5 生
【両親】敏光・優子
【住所】栄町1

はじめまして!!埜亜です!私は産まれた時から、お父さんにそっくり☆最近はお母さんにも似てきたねって言われるけど、やっぱりお父さんにそっくりなんだよね〜。

今は、寝返りがとっても楽しくていつもゴロンゴロンしてるの♪あたたかくなったら早くお外で遊びたいな〜。私を見かけたら声をかけてね☆



とみ おか こ はる
富岡 小華ちゃん
H18.11.5 生
【両親】淳・未佳
【住所】鬼脇2

みなさん初めまして、パパにそっくりな小華です。みんな私を見て『じゅ〜ん』なんて言ったりします。そんなに似てるかなあ!?私は毎日、歩行器に乗ったり小雪(犬)と遊んでいます。でも、早く暖かくなって散歩に行きたいです♪散歩中の私を見かけたら声を掛けてね!



かしわ や さち
柏谷 幸ちゃん
H18.11.8 生
【両親】愛一・亜樹子
【住所】富士野

みなさん初めまして。柏谷家のNo.3、幸(さち)です!みんなに幸せを運ぶためにやって来ました。幸は、どんな時もニコニコで、おねえちゃん、おにいちゃんと、3人して、いつも笑ってます。見かけたら、声かけて下さいね。笑顔で応えま〜す!

情報コーナー

郵便の営業時間外窓口

(ゆうゆう窓口)の取扱窓口です

日本郵政公社は、平成十九年十月から民営化され、日本郵政株式会社の下、郵便局会社、郵便事業会社、郵便貯金銀行、郵便保険会社などに分社化されることになっていきます。

郵便局を利用される皆さんに不便をかけることなく円滑に業務を移行するため、平成十九年三月十九日から、鬼脇郵便局の集配などの業務は「鴛泊郵便局」が行っています。

また、鴛泊郵便局の業務は、同一の局舎ではありますが、窓口業務と貯金・保険の募集・集金業務を担当する「郵便局」と、郵便物の配達・取集・集荷などのみを担当する「配達センター」という、日本郵政公社内の別組織で取り扱っています。

変更内容

郵便の営業時間外窓口(ゆうゆう窓口)を廃止しました。

代替策

配達や集荷の専門「配達センター」を設置。

不在の場合の郵便物は、翌日から毎日配達に行き、事前に連絡があれば、郵便局の窓口営業時間内であれば、従来どおり窓口での引き渡しも可能。

ゆうパックは、連絡をすれば「配達センター」が集荷に行きます。

戸籍の窓口

★お誕生おめでとうございます★

氏名	月日	保護者	続柄	住所
加藤結梨亜 (ゆりあ)	12.26	健吾・美行	長女	栄町1
平田 來望 (くるみ)	1.13	徹・めぐみ	二女	本町
小林 海斗 (かいと)	1.16	尚人・綾	長男	湾内
保野 愛実 (あいみ)	1.28	孝之・悦代	長女	本泊
黒川 遥風 (はるな)	2.2	哲義・由希	長女	栄町1
工藤 雄大 (ゆうだい)	2.12	恵一・紫	長男	野塚
岡本 侑也 (ゆきなり)	2.16	典久・愛	長男	富士野
板垣 星那 (せいな)	2.28	誠・志緒美	長女	栄町1
鎌田 菜摘 (なつみ)	3.1	広彰・美貴子	長女	栄町2
福士 翔哉 (しょうや)	3.15	明人・沙織	二男	栄町2

◆お悔やみ申しあげます◆

氏名	月日	年齢	住所
鎌田 信子	12.3	75歳	富士野
岡本 倉治	12.4	92歳	栄町1
加島 ヨノ	12.17	81歳	港町
出張 義臣	12.21	57歳	南浜
丸田 尚	12.26	73歳	港町
石川 あい子	12.27	88歳	石崎
笠井 良	1.7	94歳	港町
大山 一男	1.10	89歳	野塚
三上 實	1.12	74歳	野塚
坂本 政美	1.18	84歳	本泊
西谷 ツサ	1.18	78歳	鬼脇1
木戸 傳五郎	1.29	90歳	大磯
関 キサ	2.3	80歳	鬼脇1
酒井 稔	2.9	85歳	鬼脇1
車谷 定雄	2.20	97歳	栄町1
熊谷 カセ	2.24	95歳	石崎
山田 トシ	2.24	79歳	栄町2
小松 福松	3.19	86歳	本泊
西野 トキエ	3.19	86歳	本泊
廣田 齊	3.21	79歳	栄町1

♥ご結婚おめでとうございます♥

月日	氏名	住所
12.4	佐藤 英城 (清川)	今吉 真弓 (清川)
12.21	藤原 裕悦 (栄町)	矢田 愛里 (利尻町)
1.30	松谷 秀和 (清川)	天内 美穂 (栄町)
2.5	加藤 謙一 (清川)	川崎 絵理 (本泊)
2.22	南 大成 (本泊)	板垣 聖子 (苫小牧)

交通安全運動にご協力願います!

最近暖かくなり、小学生や園児達が外で遊ぶ機会も増え、自転車に乗っている姿を多く見かけるようになってきました。

歩行者や自転車で遊んでいる子供達の事故を無くするためにも、安全運転に努め、事故のない安全で安心して暮らせる町づくりにご協力願います。



▼警察官ご紹介▼



4月1日の異動で利尻富士町 鷺泊駐在所勤務を命じられ着任しました井村でございます。

前任地は札幌方面白石警察署で少年係長を勤めさせて頂きました。

利尻島には、予てから転任の希望を出していましたが、今回希望が叶い、大変喜んでおります。

今まで以上に、町民の皆さんが安心して暮らしていける安全・安心な町づくりに微力ながらお手伝いできればと考えておりますので宜しくお願い致します。

編集後記

今年も、黄色い帽子を被って元気に登校する新入生を見ると、春が来たのだと感じます。

最近、子供達を狙った悪質な事件が多発しており、島内でも空き巣など、利尻では聞きなれない事件を耳にする機会が増えました。まずは家や車から離れる時は、必ずカギをかける習慣を身に付け、自ら防犯活動に努めましょう。

交通事故死 ゼロ

635日

5月7日現在

デライト運動実施中

人口のうごき (平成19年4月末現在)

	男	女	計	世帯
鷺泊	1,010	1,108	2,118	918
鬼脇	437	493	930	490
合計	1,447	1,601	3,048	1,408
昨年	△33	△43	△76	△11